

令和3年度

研究集録



研究主題 根拠のある学習評価を目指して
～学習評価及び授業評価を次の計画につなげる～
3年目／3カ年計画

< 研究集録 目次 >

研究集録 1 : 今年度の研究、まとめ

研究集録 2 : 各研究グループのまとめ

(「小中指導すべき内容の整理」、「高等部指導すべき内容の整理」)

研究集録 3 : 各研究グループのまとめ

(「生活科」、「国語科」、「算数・数学科」、「音楽科」、「体育科」
「図工・美術科」、「理科」、「社会科」)

研究集録 4 : 各研究グループのまとめ

(「自立活動」、「訪問教育」、「寄宿舍」)

北肢研 1 : 「第58回 北肢研」真駒内養護学校ポスター発表

北肢研 2 : 公開授業指導案集

(「国語科(小学部)」、「体育科(中学部)」、「理科(高等部)」)

北肢研 3 : 実践発表

(「ICT機器を活用したコミュニケーション能力を育むための指導」)

1 令和3年度の研究テーマ

研究主題

「根拠のある学習評価を目指して」

～学習評価及び授業評価を次の計画につなげる～

1年間の単年度研究
(令和元年、2年度研究の1年延長)

2 経緯

【令和2年度研究】

新学習指導要領に示された評価の3観点を踏まえ、単元指導計画の書式を改訂



積み残し

1年間の延長

※資料！

単元指導計画

学年(教科名)	単元	学年	単元	学年	単元
グループ/教育課程	知小・国語	10-11	注	10-11	注
単元・題材名	「聞くこと・話すこと」	学習指導要領との関連	教科名	知小・国語・1, 2	教科名

育てたい力「生きる力の5要素」 身に養う力を調ひたい

育てたい力 **聞くこと** **話すこと** **読むこと** **書くこと** **表現**

活動内容が同じならば、学習グループごとで複数の段階で書いても良い。

●単元のねらい及び評価規準

観点	知小・国語・1段階	知小・国語・2段階
知識及び技能	単元指導計画より転記	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が気持ちや態度を表していることを感じることができる。〔2段階A(ア)〕
思考力・判断力・表現力		・身近な人の話し掛け、簡単な事柄と語句などを結びつけたる、語句などから事柄を思い浮かべたものを表現したりすることができる。〔2段階A(ア)〕
学びに向かう力、人間性等		・言葉を通じて人との関わりや自分の身近な人について理解を深めることができる。〔2段階 学ん のり〕

単元(題材)のねらい

単元(題材)のねらい

「知識」と「技能」
「思考・判断」と「表現」は分けない。

観点を踏まえた

学習のまとめりごとに授業改善のサイクルを！

- ・単元のねらい、単元の構成 +
- ・学習指導要領との関連
- ・育てたい生きる力の5要素 (※1)
- ・**評価規準**
- ・**授業評価** ←授業作りの5つの視点(※2)

①観点別評価を踏まえた目標や評価基準の立て方が分かりにくく、作成に負担感

実際に運用しながら研究を継続し改善を目指す

②自立活動を主とした教育課程の児童生徒の学習内容や評価をどう残していくか？

グループを編成して研究を進める

3 研究全体の枠組み

< 1年間の単年度研究～1年の延長 >

① 単元指導計画の記述について正しく理解する。

全体

外部講師による全校研究会を実施

※内容は、職員アンケートを参考にして依頼。

② 令和2年度に作成した様式を用いて単元指導計画を作成し検証を行う。

教科グループ

令和2年度に取り組んだが、全校的な共通理解が十分ではなかったため、1年かけて共通理解を深めながら作成できるようにする。

- ・作成の仕方がわからない。
- ・記入例が必要
- ・記述することが多いなど時間をとられる。



③ 動画による授業研

④ 「自活主」の児童生徒の指導計画について作成や検討。

自立活動グループ

※北肢研真駒内大会
(研究授業、実践報告)

⑤ その他、学校課題に応じた研究

グループを編成して、研究を行う。

<教科グループ>

知的代替の教育課程の児童生徒の学習

- 生活
- 国語
- 算数・数学
- 体育
- 音楽
- 図工・美術
- 社会
- 理科

ビデオによる授業研

※小 - 中 - 高の串刺しグループ

<自立活動グループ>

自立活動中心の教育課程の児童生徒の指導計画のあり方について

学びの履歴をどのように残し、また、次の指導計画につなげていくか？

単元計画の作成などについても検討

詳細は、自立活動グループ欄を参照

※小 - 中 - 高の串刺しグループ

<別グループ>

本校の課題に応じたグループ

- 小中指導すべき内容整理
- 高等部指導すべき内容整理
- 訪問
- 寄宿舎

詳細は、各グループの欄を参照

< 関係部署との役割分担 >

研究部

・ 単元指導計画に関する研修
計画の立案・実施

・ グループ研究の推進・運営

研究
グ
ル
ー
プ

・ 単元指導計画の様式
を使い授業研究

・ グループ内での研究
授業（動画等）

・ 単元指導計画の様式
への意見・質問の集約

・ 研究のまとめ、全体発表

・ 研究集録作成・HP掲載

外部講師

管理職

教務部

単元指導計画の様式の修正
※自活主はグループ研究の検討を
受け、様式を作成、提案

研究グループへの単元指導計画
についての説明

※必要に応じて、単元指導計画の
様式の修正※

全体への説明（記入内容・記入
例、等）

< 研修会や北肢研
などでの支援 >
情報教育部

自立活動教諭

< 本校の課題に応
じたグループ >
訪問学級
寄宿舎

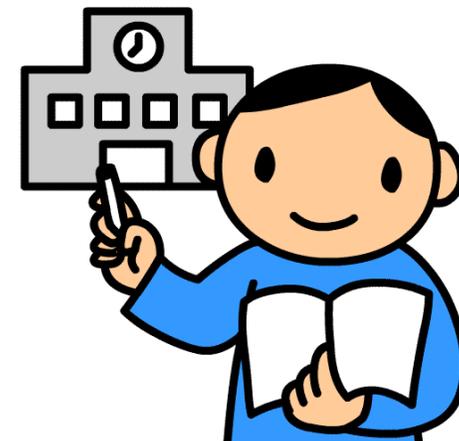
4 内容～①外部講師による全校研究会

【知的障がい教育における学習評価について】

令和3年5月31日 15:30～16:40 石狩教育局教育支援課 日小田SV

内 容

- 1 特別支援教育における学習評価の基本
- 2 学習評価を踏まえた授業づくり
- 3 評価方法の見直しに関わる参考事例
- 4 まとめ ※遠隔研修（Zoomで実施）



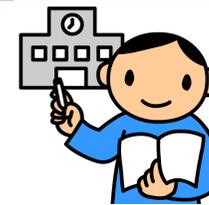
観点別評価を踏まえた目標や評価基準の立て方について、校内での共通理解を深めるために実施



○障害のある児童生徒などの学習評価について(講義資料より)

- 知的障害者である児童生徒に対する教育課程については、児童生徒の一人一人の学習状況を多角的に評価するため、各教科の目標に準拠した評価による学習評価を導入し、学習評価を基に授業評価や指導評価を行い、教育課程編成の改善・充実に生かすことができるPDCAサイクルを確立することが必要である。
- 知的障害者である児童生徒に対する教育課程においても、文書による記述という考え方を維持しつつ、観点別の学習状況を踏まえた評価を取り入れることとする。

「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」中央教育審議会



1 学習評価の意義を理解する

→観点別学習状況の評価を通して、教師の指導の改善と生徒が次の学びに向かうようにする。

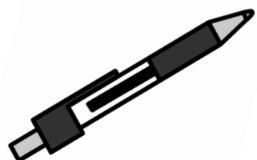
2 育成を目指す資質・能力を明確にした単元づくり、授業作り

→目標を達成した子どもの姿を具体的に想定し単元の構成や1単位時間の学習過程を工夫する。

3 学習評価の工夫と充実

→学習評価の妥当性や信頼性を高めるとともに、生徒の学習意欲の向上につなげる。

講義後の
アンケートより



- 生徒の実態として、知的代替であっても、実際の行動に移すことに支援を要することが多かったり、体調等でも状態が変わることがあり、評価基準の文言を見てもなかなかイメージを持ちにくいことがあります。細かい動きや表出を見逃さないことや教材の工夫などが大切だとは思いますが、肢体不自由、重度の子どもたちが、理解したり思考したことの表現や、主体的な取組などに関する評価の在り方や工夫について実践例や考え方などについて深めたいと思いました。
- 今後のグループ研究や授業を行う上でとても勉強になるお話でした。
- 講演を聞いて、授業場面で、ねらい（めあて）を生徒に提示し、授業の終わりに振り返る場面を設定するといった点は、自分の中でも意識して行っていたことで、参考になった。
- 今回提示された資料が普通学校や知的の学校の例であったので、根拠となるものや基本的な押さえやポイントなどについて理解できました。肢体不自由の生徒たちの実践的な例についてより学びたい。

5 内容～②教科グループの取り組み(共通事項)

- 1 教科グループの研究推進日程
- 2 単元指導計画の作成と検証
- 3 動画による授業研究の取り組み

※ グループごとの内容の詳細は、各グループのページ参照

(1) 教科グループの研究推進日程① (令和3年度 前)

	取り組みの内容	その他
4月	【全校研究①】 → 昨年度までの研究の内容、及び今年度の研究について(概要)	
5月	【全校研究②】 → 今年度の研究について(詳細、研究グループの確定) 【全校研修会】 → 【知的障害教育における評価について】 (外部講師による遠隔研修)	
6月	<div data-bbox="693 525 1166 1282" style="border: 1px solid blue; padding: 10px;">  <p>◆ 単元指導計画の作成</p> <p style="text-align: center;">※資料 I</p> <p>→ 各グループで、5月の全校研修会の内容も参考に、手順やポイントを確認しながら作成する。</p> </div>	
7月	<div data-bbox="1388 785 1949 1342" style="border: 1px solid blue; padding: 10px;"> <p>◆ 研究授業 (1回目)</p> <p>→ 各グループで、対象授業の動画を撮影し、グループで視聴する。</p> <p>→ 視聴した授業について、単元計画の構成や、授業の工夫・配慮事項について、次回の授業に向けた改善点などを話し合う。</p> </div>	【夏期研修Day】
8月		
9月	【グループ研④⑤】	
	【中間報告】 → 紙面で各グループの推進状況を交流	

(1) 教科グループの研究推進日程② (令和3年度 後

期)	取り組みの内容	その他
10月	【グループ研⑥⑦】 ◆研究授業（2回目） →1回目と同様に実施する。 ◆授業作りにおいて配慮すべきこと、工夫すべきことについて、 グループで協議する。 ◆単元指導計画の記入例の作成	
11月	【グループ研⑧】	
12月	【校内研修報告会】 →各グループから研究成果と課題の報告	
1月	【全校研究③】 →今年度の研究について(まとめ)	北肢研真駒内大会
2月		
3月	【全校研④】 →次年度の研究について(方向性)	